



第5 取扱い基準各種様式  
手引き様式第3(会派に属さない議員研修用)

研 修 報 告 書

令和8年1月14日

精華町議会

議長 岡本 篤

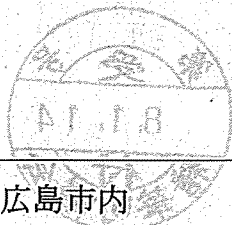
様

(議員名) 三原和久

下記のとおり、研修に参加しましたので報告します。

記

1. 研修先名	東広島市
2. 研修の目的	1, 行政の地域コミュニティ活性化の取組み 2, 東広島市 自動運転 EV バス試乗視察
3. 研修日程	令和8年1月8日～1月9日
4. 所感 (個人的な感想・ 本町への応用等)	1, 東広島市役所 住民自治協議会(自治協)を小学校区単位を基本に、住民個人のほか、自治会、各種団体、市民活動団体、地域の学校、企業・事業者など多様な地域コミュニティで構成する地域づくり団体で構成し、地域課題の解決や、地域の魅力向上のため、行政と協働して様々な活動に取り組んでいる。設立状況については旧小学校区を単位として市内全域48地区で設立されている。又、協議会の役割については、主に広報紙等の市発出文書の送達、生活関連に係る地域住民の要望事項等のとりまとめなど、12項目について役割分担されている。自治協(自治会)加入率については、令和7年度では加入率62.6%であった。課題と今後としては、行政だけではきめ細やかに対応することのできない地域のニーズや課題解決に取り組むため、大々的な活動でなくとも、新たな団体・活動のきっかけづくりを支援することが必要である。



## 2, 東広島市内

令和5年度・令和6年度に引き続き、令和7年度においても実証実験を行っており、令和5年度からの実験結果を踏まえた課題に対して必要な対策を講じ、その効果を検証することで定常運転時の自動運転化実現のめどを付け、令和7年11月5日から令和8年3月中旬にかけて改めて実証実験する中で、2027年度、一部の区間で運転手がいらない自動運転化を目指している。今回は最新の自動運転機器を搭載したEVバスを用いた実証実験を行われていました。今後、ドライバー不足の解消や、質の高い「生活や移動」をできるようになるのではないかと思います。

### ○研修先での入手資料等

- ・自動運転バス最新技術が体感できる
- ・本市の市民協働まちづくり

### ○経費

- ・近鉄電車往復運賃（新祝園駅～京都駅）590円×2=1,180円
  - ・新幹線運賃（京都駅～広島駅）11,540円×1=11,540円
  - ・新幹線運賃（広島駅～京都駅）11,740円×1=11,740円
  - ・JR山陽線往復運賃（広島駅～西条駅）590円×2=1,180円
  - ・宿泊代金 1泊 8,700円
- 合計 34,340円